東京	工業高等	男門字秘	開講年月	₽ 1 <del>11</del> /	成30年度 (2	(U) (O <del>II</del> ( <del>O</del> I	- 1 7€	業科目 品質管	
科目基础		<u> </u>	1 1/2	×   1 /-	3,00 1 /2 (2	010 1/2)	1 12		3-7
<u>17口至1</u> 科目番号	אבוודאג	0169				科目区分		専門 / 選択	
		授業				単位の種別と	当 出 合 数	履修単位: 1	
						対象学年	半世妖	<b>返修车位</b> . 1	
		前期	質工学科 期					2	
					週時間数				
•	X1/1			りやすい	1品質官理(第4	4版)、オーム1	<u>I</u>		
担当教員	_	北折典	Z						
到達目	_								
高専で学 と。	んた専門知識	戦を具体的(	商品の生産でと	らえた場	場合の対策と検	討かできるよう	になるこ	と。企業での生産(	こ重要な課題を理解できるこ
ルーブ!	リック				_				
		理想	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1			品質管理の重要性を説明で きる。		品質管理の概要を十分説明 できる。		品質管理の概要を説明でき る。		品質管理の重要性を十分に 説明できない。
評価項目2			QCの7つ道具を説明し、的確に使いこなすことができる。		QCの7つ道具を説明し、使うことができる。		QCの7つ道具を、使うこと ができる。		QCの7つ道具を説明が不十分であり、使うことが不完全である。
評価項目3		品質説力	品質のばらつきに関して解 説ができ、応用もできる。		品質のばらつきに関して解 説ができる。		品質のばらつきに関して理 解している。		品質のばらつきに関して十 分に解説ができない。
評価項目4ヒストグラムの 理解			 ヒストグラムを理解してい		ヒストグラムを作成できる。		ヒストグラムを使える。		ヒストグラムを作成できな い。
評価項目5x-R管理図の理解		の理解 x-F	c-R管理図を理解している		x-R管理図を作成できる。		x-R管理図を使える。		x-R管理図を作成できない。
評価項目6計数値の管理図 の理解			対値の管理図を十 している。	分に理	計数値の管理図を作成できる。		計数値の管理図を読める。		計数値の管理図を作成できない。
学科の発	到達目標項	目との関	<u></u> ]係						
教育方法	法等								
既要		実際企業ある。一	で、生産工場で つは目標の性能	の品質管	望とは具体的(	にどのようなも	のなのか	を理解する。品質質	管理には基本的に、二面性が る。技術者として必要なこれ
		らの課題	解決の基本的な	手段を学	プロング - ファ 学ぶ。	日は問品のほり	フさで小	<u> </u>	い。 採削者として必要なこれ
授業の進	め方・方法	らの課題 講義と発	解決の基本的な	手段を学	ブること、_ 기 Žぶ。	ヨは商品のはり	フさを小	<u></u>	い。
	め方・方法	講義と発	9解決の基本的な 表 は、予習・復習等	手段を学 の自学自	きぶ。				の。 Xxiii自として必要なこれ D習慣を身に着けること。 課
主意点		講義と発	題解決の基本的な 法	手段を学 の自学自	きぶ。				
主意点		講義と発	9解決の基本的な 表 は、予習・復習等	手段を学 の自学自	きぶ。				
主意点		講義と発	9解決の基本的な 表 は、予習・復習等	手段を学 の自学自	きぶ。		ず心がけ		
主意点		講義と発本科目に 題に対す	解決の基本的な法表は、予習・復習等にる発表を実施す	手段を学の自学自る。	学ぶ。 目習で効果が向_		ず心がけ	ること。自学自習の	
主意点		講義と発本科目は 題に対す	解決の基本的な 表 は、予習・復習等 る発表を実施す 授業内容	手段を学 の自学自 る。 業の進	学ぶ。 国習で効果が向。	上するので、必	ず心がけ	ること。自学自習の	D習慣を身に着けること。 講
主意点		講義と発 本科目は 題に対す 週 1週 2週	解決の基本的な法表に、予習・復習等る発表を実施す 授業内容 ガイダンスと授品質管理とは(	手段を学 の自学自 る。 <u>業の進</u> 8 1) 基	学ぶ。 目習で効果が向。 か方 本的な品質管理	上するので、必	ず心がけ 週ごと 品質管	ること。自学自習の の到達目標 理の役割を理解す	D習慣を身に着けること。 調
主意点		講義と発 本科目に 題に対す	解決の基本的な法表は、予習・復習等であ発表を実施すが 授業内容がイダンスと授品質管理とは( 品質管理とは(	手段を学 の自学自 る。 業の進め 1) 基 2) 世	学ぶ。 目習で効果が向。 か方 本的な品質管理	上するので、必	ず心がけ 週ごと 品質管 品質管	ること。自学自習の の到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方	D習慣を身に着けること。
主意点	画	講義と発 本科目に対す 週 1週 2週 3週 4週	解決の基本的な法表 は、予習・復習等 る発表を実施す 授業内容 ガイダンスと授 品質管理とは( 品質管理とは( QCの7つの道具	手段を学 の自学自 る。 業の進 1)基 2)世 を学ぶ	学ぶ。 目習で効果が向っ の方 本的な品質管理 界的な品質管理	上するので、必	週ごと	ること。自学自習の の到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方 つの道具を自分に	D習慣を身に着けること。 詞 る。 法を学ぶ。 当てはめてみる。
注意点		講義と発 本科目に対す 週 1週 2週 3週 4週 5週	解決の基本的な法表 、予習・復習等 る発表を実施す 授業内容 ガイダンスと授 品質管理とは( 品質管理とは( QCの7つの道具	手段を学 の自学自 る。 業の進 1) 基 2) 世 を学ぶ を活かる	学ぶ。 自習で効果が向よの方 本的な品質管理 界的な品質管理	上するので、必 <u>と歴史</u> 『について学ぶ。	週ごと 品質管 品質管 QCの7 具体的表する	ること。自学自習のの到達目標の役割を理解す 理の役割を理解す 理に必要な解析方 つの道具を自分に に身近なものに当	D習慣を身に着けること。 謂 る。 法を学ぶ。 当てはめてみる。 てはめてみる。その内容を発
注意点	画	講義と発 本科目に 題に対す 1週 2週 3週 4週 5週 6週	類解決の基本的な法表は、予習・復習等での発表を実施すりを対している。 授業内容がイダンスと授いの質管理とは( 保質管理とは( 保でのでいる道具のである。 のでのではらいきが、。	手段を学 の自学自 3 1)基 2)世 を学ぶ を活かる (1):	学ぶ。 自習で効果が向よの方 本的な品質管理 界的な品質管理 ず	上するので、必 型と歴史 型について学ぶ。 5つきについて等	ず心がけ 週ごと 品質管 品質管 QCので 具体的 表する	ること。自学自習の の到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方 つの道具を自分に に身近なものに当 。	D習慣を身に着けること。
主意点	画	講義と発 本科目に 題に対す 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	解決の基本的な法表に、予習・復習等での発表を実施する発表を実施する発表を実施するが、おります。 アイダンスと授品質管理とは( 保証管理とは( 保証では、 保証である。   日質のばらつきが、   日質のばらつきが、   日質のばらつき	手段を学 の自学自 3 1)基 2)世 を学ぶ を活かる (1):	学ぶ。 自習で効果が向よの方 本的な品質管理 界的な品質管理 ず	上するので、必 型と歴史 型について学ぶ。 5つきについて等	ず心がけ 週ごと 品質管 品質管 QCので 具体的 表する	ること。自学自習の の到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方 つの道具を自分に に身近なものに当 。	D習慣を身に着けること。 謂 る。 法を学ぶ。 当てはめてみる。 てはめてみる。その内容を発
受業計	画	講義と発 本科目に対す 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	解決の基本的な法表に、予習・復習等での発表を実施する発表を実施する発表を実施するが、出質管理とは(品質管理とは(QCの7つの道具QCの7つの道具のばらつきぶ。出質のばらつき中間テスト	手段を学 の自学自 (1) 基 (2) 世 を学ぶ を活か。 (1) :	学ぶ。 自習で効果が向 か方 本的な品質管理 界的な品質管理 ず データーのばら データーの整理	上するので、必 型と歴史 型について学ぶ。 5つきについて等 選法を学ぶ。	がいがけ 週ごと 品質管 品質管 QCのが 具本する 学 具体的	ること。自学自習のの到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方 での道具を自分に に身近なものに当 な解析方法を学び な解析方法を学び	の習慣を身に着けること。 謂る。 る。 法を学ぶ。 当てはめてみる。 てはめてみる。その内容を発 、自分で活用できること。 、自分で活用できること。
主意点	画	講義と発 本科目に 題に対す 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	解決の基本的な法表に、予習・復習等での発表を実施する発表を実施する発表を実施するが、おります。 アイダンスと授品質管理とは( 保証管理とは( 保証では、 保証である。   日質のばらつきが、   日質のばらつきが、   日質のばらつき	手段を学 の自学自 (1) 基 (2) 世 を学ぶ を活か。 (1) :	学ぶ。 自習で効果が向 か方 本的な品質管理 界的な品質管理 ず データーのばら データーの整理	上するので、必 型と歴史 型について学ぶ。 5つきについて等 選法を学ぶ。	がいがけ 週ごと 品質管 品質管 QCのが 具本する 学 具体的	ること。自学自習の の到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方 つの道具を自分に に身近なものに当 。	の習慣を身に着けること。 謂る。 る。 法を学ぶ。 当てはめてみる。 てはめてみる。その内容を発 、自分で活用できること。 、自分で活用できること。
主意点	画	講義と発 本科目に対す 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	解決の基本的な法表に、予習・復習等での発表を実施する発表を実施する発表を実施するが、出質管理とは(品質管理とは(QCの7つの道具QCの7つの道具のばらつきぶ。出質のばらつき中間テスト	手段を学 の自学自 3。 第の進め 1)基 2)世 を学ぶ を活かる (1) : (2) :	学ぶ。 国習で効果が向 力方 本的な品質管理 界的な品質管理 データーのばら データーの整理 統計学的処理の	上するので、必 型と歴史 型について学ぶ。 のきについて等 型法を学ぶ。	ず心がけ 週ごと 品質管 QCのか 具本が 具体的	ること。自学自習のの到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方 での道具を自分に に身近なものに当 な解析方法を学び な解析方法を学び	の習慣を身に着けること。 該る。 法を学ぶ。 当てはめてみる。 てはめてみる。その内容を発 、自分で活用できること。 、自分で活用できること。
注意点	画	講義と発 本題に対す 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	解決の基本的な法表に、予習・復習等る発表を実施する発表を実施する発表を実施する発表を実施するが、品質管理とは(QCの7つの道具QCの7つの道具QCの7つの道具品質のばらつきい。品質のばらつきい。品質のばらつきいまりのばらつきいまりである。	手段を学 の自学自 3 1)基 2)世 を学ぶ を活か。 (1) : (2) : (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (4)	学ぶ。  国習で効果が向上  力方  本的な品質管理  界的な品質管理  データーのばら  データーの整理  統計学的処理の  統計学的処理の	上するので、必 型と歴史 型について学ぶ。 のきについて等 型法を学ぶ。	でいがけ 週ごと 品質管 QCのの 具体的る 具体的 具体的	ること。自学自習のの到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方での道具を自分にに身近なものに当。 な解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな事例をもとに、	の習慣を身に着けること。 調る。 法を学ぶ。 当てはめてみる。 てはめてみる。その内容を発 、自分で活用できること。 、応用できる。 、応用できる。
主意点	画	調義と発 本科目に 短に対す 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	解決の基本的な法表 、予習・復習等・ る発表を実施す 授業内容 ガイダンスと授品質管理とは( QCの7つの道具 QCの7つの道具 品質のばらつき 中間テスト 品質のばらつき 品質のばらつき	手段を学の自学自 の自学自 1)基 2)世 を学ぶ を活か。 (1): (2): (3): (3): (3):	学ぶ。 国習で効果が向上の方 本的な品質管理界的な品質管理 データーのばら データーの整理 統計学的処理の の方を学ぶ。	上するので、必 型と歴史 型について学ぶ。 のきについて等 型法を学ぶ。	ず心がけ 週ごと 品質質管 QCのの 具表 体体 具体体的 具体的	ること。自学自習のの到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方での道具を自分にに身近なものに当。 な解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな事例をもとに、	の習慣を身に着けること。 調る。 法を学ぶ。 当てはめてみる。 てはめてみる。その内容を発 、自分で活用できること。 、自分で活用できること。 、応用できる。 、応用できる。 、応用できる。 、 、 、 、
主意点	直 1stQ	選 本類に対す 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	解決の基本的な法表 、予習・復習等・ る発表を実施す 授業内容 ガイダンスと授品質管理とは( QCの7つの道具 品質のばらつき い。 品質のばらつき 中間テスト 品質のばらつき 中間テスト	手段を学の含。 業の進め 1) 基 2) 世 を学ぶ を活かで (1) :: (3) (3) (3) (7) (3) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	学ぶ。 国習で効果が向上の方 本的な品質管理界的な品質管理 データーのばら データーの整理 統計学的処理の の方を学ぶ。	上するので、必 型と歴史 型について学ぶ。 のきについて等 型法を学ぶ。	ででいかけ 週ごと 品質質管 QCのの 具表 体体的 具体体体的 具体体的的を 自身のの	ること。自学自習のの到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方での道具を自分にに身近なものに当。 な解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな事例をもとに、	の習慣を身に着けること。 調る。 法を学ぶ。 当てはめてみる。 てはめてみる。その内容を発 、自分で活用できること。 、自分で活用できること。 、応用できる。 、応用できる。 ひ善案を見出すケーススタデ
主意点	直 1stQ	講義と発 本題に対す 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	解決の基本的な法表に、予習・復習等る発表を実施する発表を実施する発表を実施する発表を実施するが、のでは、受性をは、では、質管理とは、では、質のばらつきが、品質のばらつきが、品質のばらつきいが、これをできるできない。	手段を学のる。 <ul> <li>業の進めます。</li> <li>を対している。</li> <li>(3) をできる。</li> <li>(3) をできる。</li> <li>(3) をできる。</li> <li>(3) を使い方</li> </ul>	学ぶ。 国習で効果が向上の方 本的な品質管理界的な品質管理 データーのばら データーの整理 統計学的処理の の方を学ぶ。	上するので、必 型と歴史 型について学ぶ。 のきについて等 型法を学ぶ。	ず心がけ 週ご 音管管 QCのう 具表 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体 体 で で 理 図 で で 理 図 の で で 理 図 の で で で の で で で の で で で の で で の の で の の で の の で の の で の の で の の で の	ること。自学自習の の到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方 つの道具を自分に に身近なものに当。 な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び	の習慣を身に着けること。 調る。 法を学ぶ。 当てはめてみる。 てはめてみる。その内容を発 、自分で活用できること。 、応用できる。 、応用できる。 、応用できる。 ひ善案を見出すケーススタテ
主意点	直 1stQ	講義と発 本題に対す 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	解決の基本的な法表に、予習・復習等・る発表を実施すりを表表を実施すりを発表を実施すりを発表を実施すりを表示を表表を実施すりを表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	手段を学のる。 <ul> <li>業の進めます。</li> <li>を対している。</li> <li>(3) をできる。</li> <li>(3) をできる。</li> <li>(3) をできる。</li> <li>(3) を使い方</li> </ul>	学ぶ。 国習で効果が向上の方 本的な品質管理界的な品質管理 データーのばら データーの整理 統計学的処理の の方を学ぶ。	上するので、必 型と歴史 型について学ぶ。 のきについて等 型法を学ぶ。	ず心がけり過ごとのののは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	ること。自学自習のの到達目標 理の役割を理解す理に必要な解析方での道具を自分にに身近なものに当な解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな解析方法を学びな事例をもとに、学ぶ。 り近な例を挙げて	の習慣を身に着けること。 謂る。  さきな学ぶ。 当てはめてみる。 てはめてみる。その内容を発 、自分で活用できること。 、応用できる。 、応用できる。 ひ善案を見出すケーススタテ ケーススタディーを提案する する。
受業計	直 1stQ	講義と発 本題に対す 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	解決の基本的な法表と、予習・復習等・る発表を実施する発表を実施する発表を実施する発表を実施する発表を実施する発表を実施するでは、質管理とは(QCの7つの道のではらいます。のばらいまり、一、大りではいるではいるではいるではいるできるではいる。これではいるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできる	手段を学のる。 <ul> <li>業の進めます。</li> <li>を対している。</li> <li>(3) をできます。</li> <li>(3) をできます。</li> <li>(3) を使い方</li> </ul>	学ぶ。 国習で効果が向上の方 本的な品質管理界的な品質管理 データーのばら データーの整理 統計学的処理の の方を学ぶ。	上するので、必 型と歴史 型について学ぶ。 のきについて等 型法を学ぶ。	ず心がけり過ごとのののは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	ること。自学自習の の到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方 つの道具を自分に に身近なものに当。 な解析方法を学び な事のとに、 は事のと は事のと は事のと は事のと は事のと は事のと は事のと は事のと	の習慣を身に着けること。 謂る。  さきな学ぶ。 当てはめてみる。 てはめてみる。その内容を発 、自分で活用できること。 、応用できる。 、応用できる。 ひ善案を見出すケーススタテ ケーススタディーを提案する する。
注意点 受 <b>業</b> 計可	files	選 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	解決の基本的な法表で、 表ででは、 ででは、 を変えを実施する発表を実施する。 一般では、 一般できた。 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般できた。 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般できた。 一般では、 一をは、	手段を学のる。 業の進めます。 1) 基立ををできます。 2) 世界である。 (1) では、できます。 (3) できます。 (3) できます。 (3) できます。 一のの実践の	学ぶ。 国習で効果が向上の方 本的な品質管理 界的な品質管理 データーのばら データーの整理 統計学的処理の の方を学ぶ。	上するので、必 型と歴史 型について学ぶ。 のきについて等 型法を学ぶ。	ず心がけり過ごとのののは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	ること。自学自習の の到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方 つの道具を自分に に身近なものに当。 な解析方法を学び な事のとに、 は事のと は事のと は事のと は事のと は事のと は事のと は事のと は事のと	の習慣を身に着けること。 謂る。  さきな学ぶ。 当てはめてみる。 てはめてみる。その内容を発 、自分で活用できること。 、応用できる。 、応用できる。 ひ善案を見出すケーススタテ ケーススタディーを提案する する。
主意点受業計画	files	講義と発 本題に対す 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 	解決の基本的な法表で、表別では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	手 のる。 業の (1) 2) で を を (1) で (2) で (3) で (3) で (3) で (3) で (3) で (3) で (3) で (3) で (4) で (4) で (5) で (6) で (6) で (7) で	学ぶ。 自習で効果が向。 力方 本的な品質管理 アラーのばら アーターの整理 統計学的処理の 統計学的処理の の方を学ぶ。	上するので、必 と歴史 について学ぶ。 のきについて学 を かまとめ のまとめ	ず心がけり過ごとのののは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	ること。自学自習の の到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方 つの道具を自分に に身近なものに当。 な解析方法を学び な事のとに、 は事のと は事のと は事のと は事のと は事のと は事のと は事のと は事のと	の習慣を身に着けること。 調る。 法を学ぶ。 当てはめてみる。 てはめてみる。その内容を発 、自分で活用できること。 、応用できる。 、応用できる。 改善案を見出すケーススタテ ケーススタディーを提案する する。 る。 まとめる。
主意点 受業計 が 期	画 1stQ 2ndQ	選 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	解決の基本的な法表で、 表ででは、 ででは、 を変えを実施する発表を実施する。 一般では、 一般できた。 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般できた。 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般できた。 一般では、 一をは、	手 のる。 業の (1) 2) で を を (1) で (2) で (3) で (3) で (3) で (3) で (3) で (3) で (3) で (3) で (4) で (4) で (5) で (6) で (6) で (7) で	学ぶ。 国習で効果が向上の方 本的な品質管理 界的な品質管理 データーのばら データーの整理 統計学的処理の の方を学ぶ。	上するので、必 と歴史 について学ぶ。 のきについて学 を かまとめ のまとめ	ず心がけり過ごとのののは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	ること。自学自習の の到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方 つの道具を自分に に身近なものに当。 な解析方法を学び な事のとに、 は事のと は事のと は事のと は事のと は事のと は事のと は事のと は事のと	の習慣を身に着けること。 該る。  る。 法を学ぶ。 当てはめてみる。 てはめてみる。その内容を発 、自分で活用できること。 、応用できる。 、応用できる。 ひ善案を見出すケーススタラケーススタディーを提案する。 する。
意点	画 1stQ 2ndQ	選しています。 「は、おおから、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	解決の基本的な法表で表別では、 表を関する発表を実施する発表を実施を対イダンスとは( 日質管では、( 日質では、( 日ののでのでは、のでは、のでは、のでは、のでのでは、のでは、のでは、のでは、のでは	手のる。 業 1) さいできる (1) できるできるです。 (2) できるできるです。 (3) できるできるできるできるできる。 (3) できるできるできるできる。 (3) できるできるできるできる。 (3) できるできるできるできる。 (3) できるできるできるできる。 (3) できるできるできるできるできる。 (3) できるできるできるできるできるできる。 (3) できるできるできるできるできるできるできるできるできるできる。 (3) できるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできる。 (3) できるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるで	学ぶ。 国習で効果が向上 力方 本的な品質管理 界的な品質管理 データーのばら データーの整理 統計学的処理の の方を学ぶ。 国	上するので、必 と歴史 記について学ぶ。 のまとめ のまとめ	ず心がけり過ごと問題を関する。	ること。自学自習の の到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方 つの道具を自分に に身近なものに当。 な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び なの使用方法を理解 ばっし、 での学習を整理し	の習慣を身に着けること。 調る。 法を学ぶ。 当てはめてみる。 てはめてみる。その内容を発 、自分で活用できること。 、自分で活用できること。 、応用できる。 、応用できる。 改善案を見出すケーススタディーを提案する する。 る。 まとめる。
主意は一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一	画 1stQ 2ndQ	選しています。 「は、おおおりでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	解決のない。 表 予習・表 復習等・ る発表を実施す 授業内容 ガイダシスとは( 品質管理とは道具 QCの7つのがらいる。 品質のがはらいる。 品質のがはらいる。 品質のがはらいる。 日間のがはらいる。 日間でのがはらいる。 日間でのがはらいる。 日間でのがはなります。 大ーススタディイ 管理格析と品質 まとめ 学習内容 発表	手 のる。 業 1) 基 2) 学活かで (1) : (3) : (4) : (5) : (6) : (7) : (7) : (8) : (8) : (9) : (1)	学ぶ。 自習で効果が向。 力方 本的な品質管理 アラーのばら アーターの整理 統計学的処理の 統計学的処理の の方を学ぶ。	上するので、必 型と歴史 型について学ぶ。 のまとめ のまとめ のまとめ	ず心がけり過ごというでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	の到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方 での道具を自分に に身近なものに当 な解析方法を学び	の習慣を身に着けること。 調 る。 法を学ぶ。 当てはめてみる。 てはめてみる。 その内容を発 、 自分で活用できること。 、 応用できる。 、 応用できる。 改善案を見出すケーススタディーを提案する する。 る。 まとめる。
主意は、一直は、一直は、一直は、一直は、一直は、一直は、一直は、一直は、一直は、一直	画 1stQ 2ndQ コアカリキ 合 調合 30	選しています。 「は、おおおりでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	解決の基本的な法表。	手 のる	学ぶ。 国習で効果が向上 力方 本的な品質管理 界的な品質管理 データーのばら データーの整理 統計学的処理の の方を学ぶ。 国	上するので、必 型と歴史 個について学ぶ。 のまとめ かまとめ かまとめ	ででは、	の到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方 での道具を自分に に身近なものに当 な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び なの使用方法を理解 がいます。 の使用方法を理解 がいます。 のででの学習を整理し	D習慣を身に着けること。 調 る。 法を学ぶ。 当てはめてみる。 てはめてみる。その内容を発 、自分で活用できること。 、応用できる。 、応用できる。 改善案を見出すケーススタデケーススタディーを提案する する。 る。 まとめる。
主意受業計では、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	画 1stQ 2ndQ コアカリキ 合 割合 30 カ 0	講義と発 本題に対す 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	解決の基本的な法表。	手 のる 業 1 2 2 を を ( 1 ) : ( 3 ) が は 基 世 ぶ か で ( 3 ) が で 実	学ぶ。 国習で効果が向上 力方 本的な品質管理 界的な品質管理 データーのばら データーの整理 統計学的処理の の方を学ぶ。 国	上するので、必 と 歴史 と 歴史 と について 学 ぶ。	ででいかけ	の到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方 での道具を自分に に身近なものに当 な解析方法を学び	D習慣を身に着けること。 調 る。 法を学ぶ。 当てはめてみる。 てはめてみる。その内容を発 、自分で活用できること。 、応用できる。 、応用できる。 改善案を見出すケーススタデケーススタディーを提案する する。 る。 まとめる。 到達レベル 授業週 ート 合計 100 50
注意点授業計画	画 1stQ 2ndQ コアカリキ 合 割合 30 カ 0	講義と発 本題に対す 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	解決の基本的な法表。	手 のる	学ぶ。 国習で効果が向上 力方 本的な品質管理 界的な品質管理 データーのばら データーの整理 統計学的処理の の方を学ぶ。 国	上するので、必 型と歴史 個について学ぶ。 のまとめ かまとめ かまとめ	ででは、	の到達目標 理の役割を理解す 理に必要な解析方 での道具を自分に に身近なものに当 な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び な解析方法を学び なの使用方法を理解 がいます。 の使用方法を理解 がいます。 のででの学習を整理し	D習慣を身に着けること。 調 る。 法を学ぶ。 当てはめてみる。 てはめてみる。その内容を発 、自分で活用できること。 、応用できる。 、応用できる。 改善案を見出すケーススタデケーススタディーを提案する する。 る。 まとめる。